

健康性・環境性高い塗り壁

信頼に応える性能と品質



大平邦夫さん

建材は最良なものを採用

「多くの人にとって一生に一度の家づくりで、数あるハウスメーカー・工務店の中から当社を信頼し任せて頂いたからには、確かな性能・品質でその信頼に応えたい。それまでできるだけ適正な価格で」。このような考えのもと、当社では冬の寒さ、夏の暑さがいずれも厳しい北見で、1年を通して快適に暮らせる建物の性能はもちろんのこと、住む人の健康や環境保護にもこだわった家づくりを提案しています。

そのため使用する建材は、クオリティや耐久性、価格のバランスが最良と思うものを採用してきました。例えば土台や根太の防腐剤には木炭原料の水性塗料「スーパーカーボンコート」、内装材と外壁の構造パネルには天然鉱石を原料とした無機質素材「モイス」を使っています。いずれも健康に良いだけでなく、天然原料なので捨てても環境を汚染しません。

ただ、室内の壁・天井に使う内装材については、なかなか「これだ」と思うものが見つかりませ

んでした。モイスは機能的に優れています。デザイン・コスト面で制約を受けるので、壁・天井のすべてに使うことは難しいのが現状。かと言ってビニールクロスでは10年しないうちに傷みや汚れが目立つようになるほか、部分的な補修がしづらく、捨てる時には産業廃棄物になってしまいます。



郵便ポストや表札、アプローチ、フェンスなどもそれぞれの住宅に合うオリジナルなものをプロデュースしている

室内の空気がキレイに

そのような中、「珪藻土やしつこい同様に吸放湿性や消臭性などがあり、ひび割れや粉落ちといった欠点はない内装塗り壁材を使

いたい」と考えていたところ、知り合いの建材屋さんから紹介されたのがダイアトームマス。

これは珪藻土の一種であるアロエの化石を主成分とし、ひび割れに強く調湿性にも優れ、嫌な臭いも吸着分解してくれます。水溶性なので手が荒れることはなく、環境を汚染する心配が少ないのも魅力。ホルムアルデヒドなどシックハウスの原因となる有害化学物質も放散しません。とても塗りやすいのでちよつと器用な人であれば左官の技術がなくても施工できますし、上塗りだけでキズの補修もできるので、価格は多少割高になるものの、長い目で見たらビニールクロスよりずっとお得です。

今年1月に完成した物件で初めて使ったところ、室内はほとんど無臭の状態に。また、ホルムアルデヒドの濃度測定の結果も良好で、ダイアトームマスがかなりホルムアルデヒドも吸着してくれたのではないかと思えます。

ほかにも使ってみたいと考えている内装材はありますが、これからお客さんに勧める内装材として、ダイアトームマスが有力な候補となったのは間違いないですね。

エポホームオオヒラ(有) 代表取締役 **大平 邦夫**

1962年 北見生まれ

1984年 地元不動産会社に就職

1887年 エポホームオオヒラの前身となるコナカホームズを設立し専務に就任

1999年 コナカホームズ解散と同時に同社の設備等を引き継ぎ、エポホームオオヒラを設立。現在に至る